

臼杵市 施策評価シート
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	都市デザイン課	小坂 郡師	2320

コード	VI-17-38	施策名	港湾の整備と活用
施策の方針	交通基盤を整える		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		
5年後のめざす姿	臼杵港に新しい埠頭が整備され、「九州の東の玄関口」として港がにぎわうことによりフェリーの利用者が増え、人や物の流れが活発になります。本市の情報を効果的に提供することで、市内の観光地へ来訪者を誘導します。港の緑地は安心して快適な空間として市民に親しまれ、災害の発生時において防災の拠点施設としての機能を発揮することをめざします。		
施策の内容	九州の東の玄関口として、四国や関西方面へ、海上輸送の拠点として、フェリー機能の強化を図るため、新埠頭を整備し、人の交流を生むために、ハード・ソフト両面から港の魅力づくりを行います。		

<指標>

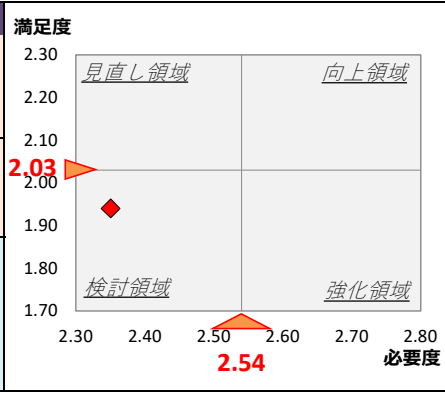
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	フェリー乗降車の年間台数	港湾統計	千台	221	224	228	231	235		
			実績	236	175	180	188			
			達成率	79.2%	80.4%	82.5%				
○	新臼杵港整備工事(1バース)の進捗率	工事の進捗率 = 累積事業費 ÷ 総事業費 × 100	%	84.0	91.0	96.0	100.0	100.0		
			実績	85.0	91.0	100.0	100.0			
			達成率	108.3%	109.9%	104.2%				
○	新臼杵港整備工事(2バース)の進捗率	工事の進捗率 = 累積事業費 ÷ 総事業費 × 100	%			5.9	19.6	32.1		
			実績			5.9				
			達成率			100.0%				
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							

指標の分析

・フェリー乗降車の年間台数については、新型コロナウイルス感染症の影響により一時利用者が減りましたが、少しずつ回復傾向にあります。
・新臼杵港の整備については、軟弱地盤層の対策工事も順調に終了、埠頭の上部工(排水工、舗装、緑地、電気設備)の整備が進められました。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R4調査)	領域名	必要度	満足度
	検討領域	2.35	1.94
市民意識調査結果分析	<p>令和4年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>県事業として整備されている港湾施設については、四国や関西方面と九州を結ぶ基幹的な交通の拠点施設であるとともに、『耐震強化岸壁』や『防災緑地』を備えた重要な施設であり、災害発生後、県南地域の人の流れ、物流の基幹ルートとして、海上輸送の拠点となる施設であるため、その重要性を周知していく必要があります。</p>		



<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	新しい埠頭整備については、軟弱地盤の対策工事も順調に進んだことから、供用開始までに、既存アクセス道路の整備を行う必要があります。また、令和4年度から、2バース目の整備が着手されましたので、臼杵港全体の利活用について検討する必要があります。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード	
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み				
1	臼杵港 港湾改修工事 県工事負担金	護岸工事	都市デザイン課		148,505	46,875	108,950	継続	○	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計					148,505	46,875	108,950			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	・新しい埠頭の整備については、軟弱地盤対策の工事も順調に終了したことから、既存アクセス道路の交通渋滞等の対策工事を、供用開始までに完成させる必要があります。また、令和4年度から2バース目の工事に着手したことから、臼杵港全体の構想を考える必要があります。 ・臼杵港は四国や関西方面からの物流や観光客を受け入れる、九州の東の玄関口として大変重要な施設であり、供用開始に併せて、交流人口の増大や臼杵市の活性化に繋がる各取り組みも検討していく必要があると考えています。 ・供用開始につきましては、当初予定していた開港年度から遅れる予定であることから、進捗状況は遅延としています。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	---	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和4年度 実施済	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--